

特定非営利活動法人



ふぁみりあネット

Wave

フニーク

第84号

令和5年 春だより

P4. 国際親善講座「オンラインで今すぐネパールへ行こう！」8,000mのダワラギリ山と国花の石南花(シャクナゲ)



■■■ 主な内容 ■■■

- P.2 「ことばの力」 理事長 夏目智子
- P.3 袋井市の審議会等報告
国の審議会報告
他団体交流 他 ふらっとサミット
- P.4 国際親善 「オンラインで今すぐネパールへ行こう！」
- P.5 福祉の増進Ⅰ ふくろいファミリー・サポート・センター
子どもの育成 放課後児童クラブ
男女共同参画 袋井市男女共同参画セミナー[男性育休の推進]
- P.6-7 福祉の増進Ⅱ ACP(人生会議)研修会
- P.8 おしらせ 令和5年度 法人通常総会
文化の振興 会員研修旅行

ことばの力

理事長 夏目智子

令和4年度が間もなく終わり、新たな令和5年度を迎えようとしています。会員及び関係者の格別のご理解とご支援のお陰を持ちまして、当法人ふぁみりあネットは順調に事業を実施することができております。皆様に厚くお礼を申し上げます。

ところで3年余に及んだ新型コロナの影響も少しずつ減少し、3月13日からはマスク解禁、5月8日から感染症法上の位置づけについて、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行する方針が決まりました。私たちの日常生活は徐々に元に戻り、対面でのイベントも増えて、希薄になった人と人との関係性も修復されていくことが期待されます。



<ことばの3箇条>

日本語学者の米川明彦氏がコミュニケーションのために覚えておきたい「ことばの3箇条」を作成していますので紹介させていただきます。

- ・第一は自分のことばがいつも正しいと思うな。
- ・第二にことばは人のためにあり、ことばのためにあるのではない。
- ・第三にことばは相手を理解し、相手からも理解されるため、通じ合うために使う。

そこには相手に対する敬意と寛容な心が必要です。

<コミュニケーションのコツ>

元 SBS アナウンサーの青木輝(あおき ひかる)さんの講義より。
2004(平成16)年のウェーブ9号に掲載させていただきましたが、あれから19年経った今も、コミュニケーションのコツ、納得させる話し方の重要性は変わっていないことを強く感じています。

- ・話し方のコツ
① よくわかること ② 感じのよい話し方をする ③ 訴えるものが入っている
④ 話し手の主張を受け入れて行動させる

- ・話の組み立て方
① 注意を向けさせる ② ためになる ③ 満足感がある

そのためには

- ① 材料を豊富にすること ② 自分のものにすること ③ 準備が大切

人の話をよく聞き、よい点はアレンジして自分のものとして使うことも大切です。

人との出会いの季節です。ことばの力を借りて出会いを素晴らしいものに致しましょう。

令和4年度 袋井市の審議会等報告



審議会名 (委員名)	趣旨・目的など	組織	審議内容・開催日 他
成人式実行委員会 (杉浩子)	社会教育の発展、進行を図る。	委員14人 11団体 R4.4.1 ～R5.3.31	第1回(R4.8.2)～第5回(R5.1.31) R4年度実施方針、スケジュール、会場設定、当日役割、準備、開催 R5.1.8 実施(エコパアリーナ)
人権問題啓発推進協議会 (村松恵美子)	市民が人権同和問題を正しく理解し人権意識の高揚を図ることにより人権同和問題を解決するための活動を行う。 	委員15人 R3.4.1 ～R5.3.31	人権文化啓発推進協議会 5/30 R4年度人権文化創造講演会 7/23 メロープラザ 一人ひとりかけがえのないいのち～少年院の子どもたちと共に歩んで～ 中野レイ子氏 R5年度人権文化創造講演会講師選定 R.5.2.1 ・書面による選定 R5年度協議会委員選定
花咲くふくろい推進協議会 (兼子千津子)	会員相互の連携と親睦を図り、花と緑の美しい景観づくりに貢献するため、花いっぱい運動を積極的に行う。 	委員16人 16団体 R4.4.1 ～R6.3.31	愛野メモリアルロード植栽、除草 オープンガーデン見学 4/15 R5年度実施状況計画を各委員事前提出 11/20 R4年度花咲くふくろい推進協議会 R5.2.15 ・R4年度活動報告 ・R5 活動事業計画各委員発表他 ・その他①参加協力②委員の変更③花工場の運営 ④構成団体の追加について
地域福祉推進計画策定委員会 (丸山秀美)	基本理念 ふれあい・支え合いみんなで創ろう福祉の輪 基本目標 1 地域の支え合いのための仕組みづくり 2 地域福祉の担い手づくり 3 包括的に支援するための基盤整備	委員15人 15団体 R4.4.1 ～R7.3.31	R4年度地域福祉推進計画策定委員会 8/17 ①地域福祉を取り巻く状況について ②R3年度地域福祉推進計画実施状況について ③R4年度地域福祉推進計画実施計画について
介護予防・日常生活支援推進会議 (鈴木由加)	介護予防・日常生活支援総合事業を実施するにあたり、地域の多様な介護予防及び日常生活支援サービス提供主体と連携し、支援体制の充実及び強化を図る。	委員15名 15団体 R4.5.1 ～R6.4.30	第1回 6/2 市内での生活支援の取組について 第2回 11/8 移動支援の現状と課題について 第3回 R5.2/14 情報発信の方法と担い手の育成について

令和4年度 国の審議会報告



理事長 夏目智子

審議会名	所管	任期	開催日 ()はWeb開催	内容
製品安全対策優良企業表彰審査委員会	経済産業省 (MS&AD インターリスク総研)	R2.5.1 ～R4.3.31	(4/28、8/16、9/12、9/13、9/14、9/20、9/21、10/17、3/7) 10/5	製品安全対策優良企業表彰の審査に関する各種の検討を行う。



他団体交流 他 袋井市協働まちづくりセンター ふらっと

2022ふらっと祭「ふらっとサミット」 市民団体の分野別交流会

団体の活動紹介、情報共有、地域課題の共有を図り課題解決に向けて、連携・協働の可能性を探ることを目的に開催され、法人からは、理事が専門分野5分野のうち、4分野(①②③⑤)に参画しました。



12/10「ふらっと」にて
教育・文化部門の様子(YouTube から転載)

土曜日9:30～11:30

- ① 11/26「まちづくり」
- ② 1/28「福祉」
- ③ 12/10「教育・文化」
- ④ 2/25「スポーツ・健康」
- ⑤ 3/11「環境・防災」

「オンラインで今すぐネパールへ行こう！」

令和5年1月27日(金)14:00~15:30 月見の里 2F 集会室 C 50名参加

法人事業初の海外とのオンライン講座ということで、開催直前まで紆余曲折がありましたが、最後の質疑応答(オンライン上で講師と直接)ではたくさんのご質問があり、アンケートにも「とても楽しかった」「ネパールに行ってみたい」という感想が多く寄せられ、他国を知り関心を持てただけことは、講座の目的でもあり、感慨深い思いです。ご参加いただきありがとうございました。



講師:ギータ・サブクタ 氏

(京都文教大学幼児教育学部卒~修士号
取得を経て現在ツアーコンダクター)

開催日は偶然、ギータさんのお誕生日でした。「Happy Birthday To You ♪」を参加者全員で歌って、サプライズのお祝いをしました。とても喜んでくださり、こちらまで嬉しくなりました。



～国花のシャクナゲ～
満開の3月頃



～標高 3,200mにある山小屋～



～田舎の様子～
石を積んで造られた
階段と壁に座る子どもたち



「多民族国家だが、皆が互いを理解・尊重し合い、誰をも温かく受け入れます。」とのこと。写真は、地元民・観光客で賑わう街の様子。

雄大なヒマラヤ山脈や各地の長閑な風景、歴史ある寺院などの建造物、日常の暮らしやお祭り、観光地も大自然に囲まれた場所から賑わう商店街まで、お話も映像も盛りだくさんで、紙面での紹介は一部にも満たないです。たった1時間で充実した旅行ができたのは、ギータさんのコーディネート之力と、オンライン講座だからこそ!です。

映像はギータさんが撮影されたもので、ネパールを愛し、皆さんに知ってほしいという思いが込められ、どれも臨場感と温かみがありました。

どんなジャンルの質問にも気さくに、わかりやすく答えてくださったギータさんを絶賛する声もたくさんでした。また、「昔の日本と似ていて親近感がわいた」という感想もとても多かったです。

講師のお人柄も相まってネパールの魅力が増しました。



～ネパールのヒマラヤザクラ～ 満開時期は1月頃。
幹ほどに成長した、たくましい枝にはたくさんの花が咲いています。

ヒマラヤザクラと日本…昭和42年にネパールから贈られました。熱海市内には約50本残っており、その中でも特に見応えと趣があるのは熱海高校下のヒマラヤザクラの原木(親木)だそうです。





今年度も多くの協力会員さんが、依頼会員(子ども・高齢者)さんをサポートしています。

「子どもさんと楽しい時間を過ごしたい」「高齢者さんの通院やお買い物のお手伝いをしたい」「ボランティアに興味がある」そんな思いの方、ぜひご連絡を。知り合いの方へもお声かけください。

新年度の研修・講座開催予定

<集団託児研修>

6月 9日(金)9:30~11:00 月見の里学遊館

6月 13日(火)9:30~11:00 メロープラザ

ご案内チラシを同封しました。

以降の詳細は決まりましたらお知らせします。

10月~11月 託児・高齢者サポーター養成講座

12月 集団託児研修

子どもさんのサポートだけなら…

付き添いの通院は心配だけどお買物なら…など、
ご都合にあわせて無理なくできるボランティアです。
特別な資格は要りません。

皆様のご参加を
お待ちしております



<ふくろいファミリー・サポート・センター連絡先> まずは下記までお気軽にどうぞ

<TEL/FAX> 0538-44-3149 <Mail> famisapohukuroi@gmail.com

<ホームページ> <https://www.fukuroi-famisapo.net/>



子どもの育成

放課後児童クラブ

令和5年度 入所児童数(長期利用含む)令和5年3月1日現在 (単位:名)

袋東小	三川小	今井小	笠原小	浅東小	浅南小	浅北小	土曜日	計
62	41	46	29	72	62	50	38	400



放課後児童クラブは、利用児童が下校後から家族の方の迎えまでの時間を過ごします。学校生活を終え「ただいま」と登所した児童を「おかえりなさい」と迎える家庭のような場所であり、異年齢の集団生活という社会経験の場でもあります。夏休みなど長期休暇期間は7:45~18:15で、土曜日クラブは市内全域の児童を対象として、学校の壁を超えて終日過ごします。子どもたちを無事に引き渡せるよう、安全第一の生活となりますが、安心して楽しく過ごすために、8か所のクラブがそれぞれ工夫をし、支援員・サポーターが協力し合って運営しています。

「放課後児童クラブ支援員・サポーター」を募集しています! 詳細はふぁみりあネット事務局まで

<TEL> 43-2288 <FAX> 31-5211 <メール> familiar-net@cy.tnc.ne.jp



男女共同参画

令和4年度 袋井市男女共同参画セミナーに参加しました

令和5年1月14日(土) 13:30~15:00 メロープラザ「多目的ホール」Zoom ウェナビー(オンライン配信)

男性育休を推進するワーク・ライフ・バランス ~誰が休んでも回る職場に~

講師 株式会社ワーク・ライフ・バランス執行役員 松久 晃士 氏

法人から9名参加。講演の中で「育休に関する理解度」のチェックを行い、利用できる制度をいかに認識していないのかがわかった。国からも、もっとわかりやすく発信してもらい、経営者・管理職・従業員が認識し、実際に利用できる状況・雰囲気を作ることが大切だと思う。



令和5年1月13日(金)13:30~16:00 ふぁみりあネット事務所 2 階会議室 役員・職員16名参加

令和4年度 袋井市市民向け ACP 出張講座

『こころのノート』

～気軽に始める ACP のはじめての一步～

講師:聖隷袋井病院リハビリテーション科

医師 望月亮 氏

<目的>

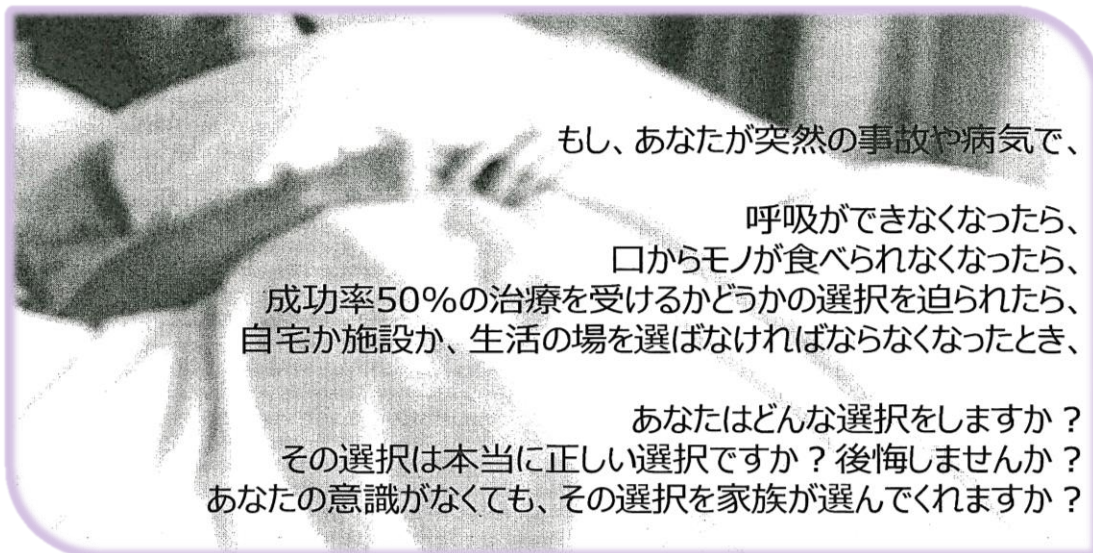
全ての袋井市民とそこご家族が
“自分らしく”

最期まで過ごすことができるようになること

望月先生の講話に沿って、前方のスクリーンに左記の演題と目的が投影され、次に下記の画像が映し出されました。

気軽に始める…のサブタイトルでしたが、文章を読み進めながら、自分のこと、家族のこと、頭にいろいろな思いや現実が駆けめぐり、心が沈むような感覚になりました。

しかし、この先にきっと気持ちが軽くなる導きがあると期待して、望月先生のお話に聴き入りました。



そして、次に映し出されたものは

『正解のない選択』は難しい・・・

*人によって異なる *タイミングや状況によって異なる *変化する可能性がある
でも、最期は選択しなければならない

答えを求められたわけでもなく、正解もないのだと、一安心。でも難しい問題だと思いました。

ACP とは・・・最期をどのように迎えるかではなく、どう生きていくかということ。

「最期まで自分らしく生きる」ための日々、積み重ね(準備)である。

- ① 『自分らしさ』をジグソーパズルのピースに例え、そのピースをつなげて、
少しずつ“形”にしていける作業(=曖昧な『価値観』を“語源化”していく作業)
- ② 時々考える(Step By Step)
- ③ ピースが少しずつ形になっていく『大事な価値観』
- ④ いざという時、『大事な価値観』を手掛かりに意思決定

今回は、はじめての一步として、①②までの講話でした。

ACP を始めるための『こころのノート』を気軽に書くコツとして、「何かを“決める”必要はない」「“できること”ではなく“したいこと”を見つける」「最期を意識しなくてよい」「“死に方”ではなく“生き方”を考える」などをお話し下さいました。その後、参加者の個人ワークと発表に続きました。

『こころのノート』
緑のノート(介護ノート)等
と一緒に綴じられるように
左上に穴が開いています。
今回はリングフォルダーも
配付されました。



研修会で発表された皆さんのお話からも、共感
や気づきがあり、心のノートを進める上でのヒ
ントをいただきました。その中でも特に、私た
ちの心に響いたお二人の感想をご紹介します。
(Wave 用にあらためて原稿をお願いしました)

<柴崎静子さん> 袋井市で「人生会議 ACP」を始めると言う。ACP って何のこと?エンディングノートを作るのかな???と、訳も分からず今日の研修会に参加しました。

まず個人ワークで、こころのノート「人生の重大ニュース」の書き出し作業がありました。私が書いたのは「夫の死」でした。夫を亡くしてしばらくは、自分には未来がないといじけ、唯々苦しみの毎日でした。

でも、そんな私を、ある『集い』が救ってくれました。同じような苦しみを抱える人たちが参加する会が、浜松にあり、救われたい思いで参加してみました。そこでの約束事は、「ここで話したことは他言無用」「この場所での人となつなかりはもたない」「ただ他の人の話を聞き、決して批判・助言はしない」「話が途切れ沈黙の時があってもかまわない」でした。参加者の話を聞きながら、「あー、同じだなあ」「そうなんだよね」「わかるよ」「いい案だね、真似しようかな」と素直な気持ちで共感でき、ひとときでも救われたことを覚えています。同じ思いを持つ人たちとの交流で、自分の未来に対してだんだんと希望を持てるようになりました。

人生会議 ACP は、自分の価値観を見つけ出し、未来に向けて自分らしく生きることだと教えてもらいました。私が参加した『集い』のような場が、袋井市にあったらいいなと思い発言をしました。また、もっと早く ACP を知っていたら夫との最期を違う形で迎えられたかもしれません。私のような経験をした方に広く ACP を知ってもらいたいと思いました。

<原田伴子さん> 夫が67才という若さで他界。当時は悲しむ余裕もなく、全力で勤める毎日でした。しかし、徐々に、押し込んでいた思いが頭から離れなくなり、切なさがこみ上げてきました。そして、『夫は、私や日常生活に対して満足していただろうか…』と、不安な気持ちで過ごすようになりました。外では頑張れても、家では、ふと、心が表にでてしまい、家族にも心配をかけました。

そんな折に、法事でお見えになったご住職が、私の様子をご覧になり、「いつまでも悲しんでいてはご主人も成仏できません。ご家族が、明るくにこにこして一生懸命生きていれば、安心して成仏できます」とのお言葉を下さいました。私は、はっ!として自分を振りかえり、『感謝しながら明るい生活を』と、心を入れ替えました。

それからは仏壇の前で、平和な日々が送れている感謝と家族の良いことを伝え、他人へも感謝と善意の気持ちで接し、微力ながらも明るい“和づくり”を心がけるようになりました。

今日の講座で「自分らしく生きる」「日々どう過ごしていくのか人生計画が必要」をよく理解することができました。そして、支えてくれた家族や、気持ちを切り替えるきっかけを下さったご住職に、更に感謝の思いが湧きました。



研修会の様子が中日新聞に掲載されました。
コピーを同封しましたので、併せてお読みください。

おしらせ

令和5年度 法人通常総会

<日 時> 令和5年 **4月22日(土)** 11:00~13:30 (受付開始 10:30)

<場 所> ハウスレストラン **レスペランス** (袋井市堀越 382-1)

<内 容> 通常総会

ランチ交流会 *バイキングではありませんので、席でゆっくりお召し上がりください。

<昼食代> 500 円(一部ご負担願います)

<年会費> 2,000 円 正会員

1,000 円 賛助会員

} 当日、受付でお預かりいたします。

同封のハガキを必ずご返送ください。

4月7日(金)まで



感染予防対策にご協力をお願い申し上げます。

文化の振興 **会員研修旅行(前期)**

昨年12月に再開した会員研修旅行は、**6月**に実施する方向です。
日程など詳細は、上記の通常総会でご案内いたします。お楽しみに！

編集後記

P4「オンラインで今すぐネパールへ行こう!」ご覧いただけましたか?
雄大なヒマラヤ山脈や国花のシャクナゲなどの画像をあらためて見て、ネパールへの想いを馳せながら掲載する内容を検討しました。

また今回は、P6-7の ACP 研修会参加報告で、「人生会議」の特集を組み、参加者の感想を載せましたので、[会員の窓]の掲載はしていません。

真剣に意見も交換し合い、時には脱線しながら毎度おなじみ“ワイワイガヤガヤ”の編集会議でしたが、皆様に充実した内容でお届けしたいと、心を込めて作りました。隅々まで読んでくださると嬉しいです。

今年度もあと半月を切りました。皆様のおかげで大きな事業も好評の内に終えることが出来ました。引き続き来年度もよろしくお願いいたします。

樽松、村松、兼子



〒437-0023 袋井市高尾 783-4
特定非営利活動法人ふぁみりあネット事務局
<TEL>0538-43-2288 <FAX>0538-31-5211
<MAIL>familiar-net@cy.tnc.ne.jp
<HP>http://familiarnet.jimbo.com/

<ホームページ>



<メール>

令和5年3月16日発行